

東京四極だより

【書:篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回】

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

発行者 野易生会
責任者 奥川隆
責任者 東四極
行集行所 東京四極
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町3-45-3
浜町野島ビル5F 浦崎税理士事務所内
TEL/FAX: 03-5641-1542

平成二十六年 東京四極会 新年会開催!

日差しに春近しを感じ、冬としては暖かい2月1日(土) 12時から、68名の参加を得て恒例の東京四極会新年会を開催した。会場は例年同様、新日鐵代々木倶楽部である。

地元大分からは相良浩四極会会長、市原宏一経済学部長、下田憲雄前経済学部長を来賓としてお迎えした。

司会は石川公博事務局次長(第53回)が担当。



姫野理事長挨拶

「本日は中堅会員の努力で例年になく多くの若手会員、特に女性会員の参加を得て、華やかさと勢いのある新年会が開催できることは喜ばしい。今年も会員皆様にとっても素晴らしい一年となるようお祈りする」



河原文博事務局次長(第51回)の大分大学ラグビー部史の披露を兼ねた開会の辞で新年会がスタートし、まず姫野易之

引き続き、相良四極会会長が絆を通じた同窓会活動の重要性やアベノミクスの本格波及を待つ大分の状況を、また、市原

その後、松浦隆志事務局次長(第47回)による乾杯の音頭で新年会に移った。宴の半ばで、佐藤勝峰事務局次長(第45回)が、今回初めて参加した若手会員4名、岡本豊士氏(第76回平成13年)、姫野雅子氏(第79年平成16年)、島津信香氏(第80回平成17年)、成瀬淑恵氏(第81回平成18年)と若手では常連の黒木昭博氏(第81回平成



18年)の紹介を行った。

のいわゆる現役組の参加が約3割に達するなど今後の若手・中堅層の参加が期待された新年会となった。一同、これから1年の会員の健康と四極会活動の盛会を祈って散会した。

参加会員(68名)

行事紹介を梅谷寛雄氏(第38回)たまには歩こう会幹事)と松岡幸秀氏(第52回)囲碁会幹事)が行ったあと、校歌・寮歌斉唱から西依章郎副理事長(第46回)の中締めめで宴は賑やかに続いた。今回は20歳代から50歳代



- (同)、小野 田幾雄(同)、河原文博 二六(同)、(第51回)、松岡幸秀(同)、佐藤泰久、(石川公博(第53回)、第39回)、米井晃彦(第54回)、大坪 小迫邦彦 孝幸(第55回)、国廣保彦 (同)、財津 孝幸(第56回)、上村憲吾(第 昌宏(第40 59回)、小林伸彦(第60回 回)、友永 (同)、内田孝一(第61回)、 英一(同)、岸 照雄(同)、八色 宏 葛城征志 (同)、高橋哲夫(第63回 (第41回)、大町拓也(第67回・平 永野基昭 4、福田裕之(第70回・ 靖弘(同)、丸尾克弘(第72回 靖弘(同)、菊川敬規(平12 小林康祐 院、岡本豊士(第76回・ (第43回)、姫野雅子院、島 宮本泰雄 津信香(第79回・平16)、 (同)、吉迫 黒木昭博(第81回・平18 俊英(同)、成瀬淑恵(同)、柴原 佐藤行弘 佳史(衛藤晟一参議院議 員秘書 (第44回、

今後の予定

- 平成二十六年度 東京四極会定時総会・懇談会のお知らせ 5月31日(土) 12時 新日鐵代々木倶楽部において開催します。若手・中堅会員の皆様の参加も増えてきました。多くの会員の皆様の参加によって東京四極会活動に一層の活性化を図っていきたく思います。
- ◆参加をお待ちしていません。
- ◆たまには歩こう会 年数回を予定
- ◆東京四極会囲碁会 5/8/12/2月を予定
- ◆春の懇親ゴルフ 4月14日(月)
- ◆富士カントリークラブ 秋の懇親ゴルフ 9月中旬を予定
- ◆若手会員の集い 納涼会を予定
- ◆平成27年新年会 2月7日(土)

問い合わせは、E-mail: info@tokyoshiwasukai.jp または、Fax: 03-5641-1542



新年会 スナップ



傘寿の会を大分で開催

寺田洋太郎(第30回大3)



千葉・吉副泰弘さんの音頭で乾杯、祝宴。追憶の思いは桜咲く上野が丘であり、シユロの葉光るグランド越しの大分川であり、二〜三人づつ百室を擁した鴻図寮だった。

坂之上光男さんがハ〜

モニカを吹いた。名曲の思い出が蘇った。
東京オリンピックまで頑張ろうと申し合わせ、柳瀬陽之助さんの発声で万歳を三唱した。別かる人にも大分があり、見送る人にも大分があり、みんな等しく巡り会いを信じて、サウナラとは誰も言わない。
東京四極会からの出席者：寺田洋太郎、吉副泰弘

卒業五十周年記念大会

梅谷寛雄(第38回)

昭和30年3月、経済学部を卒業した3回生の傘寿を祝う会が昨年10月29日、大分のセンチュリーホテルで開かれ、全国から21名が参加した。

岡崎尚靖幹事が、「高齢の馬力をかけて盛り上げよう」と冒頭あいさつ、亡くなった49人に黙祷を捧げた。生かされていることに感謝した一瞬でもあった。

福岡・山下尚幸、北九州・川浪重昭、大分・佃哲男の諸君が地区同期の活動を報告した。寺田がわざわざ関東地区の話をした。

会場には宇野康一さん編集の第四十回(東京会館)、第五十回(亀の井ホテル)の映像が流された。みんな若く元気、声に張りがあった。

大学第11回生はこれまで、節目節目に記念の同期会を実施してきたが、10年前からは関西を皮切りに、東京・福岡・大分の四地区が一年置きに持ち回りで全体同期会を開催してきた。今年は再び東京地区が当番の年にあたるが、ちょうど卒業して半世紀になるため、「卒業五十周年記念大会」と銘打って盛大に開催することになった。

昨年10月14日(月)に上野の水月ホテル・鷗外荘(森鷗外の旧居跡)に全国各地から46名(他にご夫人3名同席)が出席した。

午後5時半から集合写真を撮ったあと席に着き、冒頭、小野二六君の司会で物故者(24名)に黙祷をさされた後、一万田道敏(第38回)東京地区代表が歓迎の挨拶を述べ、続いて各地区を代表して、谷庄一郎・宮崎博・加藤皓以・広重昌憲各氏が近況を報告した。乾杯の発声は前回開催した利光征四郎君がユーモアたっぷり音頭を取り、一同声高らかに再会を祝し杯をあげた。なお、司会者からは四極会本部より清酒「四極」また八鹿酒造の井上義彦君からは

高級焼酎銀座の「すずめ」の寄贈があったことが披

るべき時に各地区の代表幹事が意見交換しながら、決めることになった。

参加者 安部亮一・安東孝洋・井上義彦・一万田道敏・上野耕造・梅谷寛雄・江頭啓吾・江藤浩一・大部昌弘・小倉章吾・尾崎敏朗・小野二六・加藤皓夫・亀田宏・辛島紘一・川口順治・菊川敬三・河野昂二郎・古賀晴夫・古賀夫人・後藤陽彦・小橋

るべき時に各地区の代表幹事が意見交換しながら、決めることになった。

田代友二・立川豊水・田中哲也・谷庄一郎・利光征四郎・利光夫人・豊福佳男・野田忠生・野辺寛生・原野真治・原光伴・久田一充・弘重昌憲・福田有序・藤丸靖夫・松並善光・三石米治・宮崎博・山浦勝彦・湯浅喬・吉本安宏・以上49名

返り、近況のほか学生時代の思い出などのアンケートを前もって募集した結果、三十名弱の応募があり「卒業五十年の思い出」としてまとめて参加者に配布したが、その中から部活でラグビー部の豊福佳男君、寮生活を代表して田代友二君に当時のエピソードなどを語ってもらった。

恒例の校歌・寮歌・追遥歌を梅谷寛雄君の指揮で、全員輪になって斉唱。引き続いて、河野昂二郎君の中締めの挨拶、さらに、25年前この同期会の立ち上げに尽力した小橋檀久君と井上義彦君の発声による万歳三唱と続いて午後8時半に御開きとなった。

「取手桜ヶ丘カントリークラブ」に到着後、2組に分かれて颯爽とプレイを楽しんだ。

心配していた雨もさほど強くはならず、全員18ホールを完走しました。結果は一万田道敏君が優勝、安部亮一君が準優勝、懇親会では大いに酒を酌み交わし、ゴルフ談義に花を咲かせて、次回の再開・健闘を誓い合い、帰路に着いた。

先ず、佐藤事務局長の挨拶と司会で会は進められた。特に初参加の三人には詳細に自己紹介をお願いした。更に仕事の内容、事業紹介等について話が盛り上がり、今後の仕事にプラスとなったよ

昨年8月5日(月)18時30分よりニュートーカー第一田町店にて「若手会員の集い」が開催された。

今回は、翔工会からの参加はなかったが、昭和60年以降卒業の会員と東京四極会役員とで納涼を兼ねた懇親会となった。

先ず、佐藤事務局長の挨拶と司会で会は進められた。特に初参加の三人には詳細に自己紹介をお願いした。更に仕事の内容、事業紹介等について話が盛り上がり、今後の仕事にプラスとなったよ

東京四極会 「若手会員の集い」開催

昨年8月5日(月)18時30分よりニュートーカー第一田町店にて「若手会員の集い」が開催された。

今回は、翔工会からの参加はなかったが、昭和60年以降卒業の会員と東京四極会役員とで納涼を兼ねた懇親会となった。

先ず、佐藤事務局長の挨拶と司会で会は進められた。特に初参加の三人には詳細に自己紹介をお願いした。更に仕事の内容、事業紹介等について話が盛り上がり、今後の仕事にプラスとなったよ

出席者 小林伸彦(S60)、内田孝一(S61)、松木正典(S61)、衛藤浩明(S63)、沼口秀樹(S63)、大町拓也(H4)、丸尾克弘(H9)、菊川敬規(H12院)、姫野易之(S44)、高橋信行(S44)、佐藤勝峰(S45)、西依章郎(S46)、下村晃(S49)、河原文博(S51)、石川公博(S53)以上15名

昨年秋の園遊会に参列!

佐藤行弘(第44回)

昨年10月31日、赤坂御苑で開催された秋の園遊会に出席しました。園遊会には天皇、皇后両陛下主催で年2回、春と秋に開催され、各界の著名人、功績者等とその配偶者が招待され、野外で和やかに懇談する会であります

名札をつけますので、どこから来られた方は推測できませんが、北は北海道から南は沖縄まで各県の功労者が参加していました。私の場合、三菱電機株式会社役員時代、総務省主催の独立行政法

名札をつけますので、どこから来られた方は推測できませんが、北は北海道から南は沖縄まで各県の功労者が参加していました。私の場合、三菱電機株式会社役員時代、総務省主催の独立行政法

当日は妻の美容院と和服の着付けそして写真撮影と早朝から慌しく、午後1時からの園遊会に何とか間に合いました。その後、秋の庭園を散策した後、天皇・皇后両陛下をはじめ皇室の方々の巡廻と謁見が終了する約2時間半、和やかな雰囲気の中で大変良い体験をすることができました。

第19回 秋の懇親ゴルフ会

恒例の秋の懇親ゴルフ会を9月18日(水)台風一過のさわやかな秋晴れの中、取手桜ヶ丘GCで13名が参加して開催されました。

今回は初参加の人もいて2人乗り乗用カートでのプレーに少々手こずっていましたが、和気あいあいひたすら白球を追い好成績を残しました。

赤坂御苑は、江戸時代、紀州藩赤坂藩邸(紀州藩赤坂藩邸)があったところで、広大な純和風庭園の中に大小5つの池があり、現在では赤坂離宮(迎賓会)と隣接し、御苑の中には、東宮御所が配置され、また、秋篠宮邸、三笠宮邸、高円宮邸、寛仁親王邸、赤坂東邸等の邸宅もあります。

赤坂御苑は、江戸時代、紀州藩赤坂藩邸(紀州藩赤坂藩邸)があったところで、広大な純和風庭園の中に大小5つの池があり、現在では赤坂離宮(迎賓会)と隣接し、御苑の中には、東宮御所が配置され、また、秋篠宮邸、三笠宮邸、高円宮邸、寛仁親王邸、赤坂東邸等の邸宅もあります。

奥多摩の名峰 大岳山にアタック

(第60回歩こう会)

第60回は大岳山(御前山・三頭山)とともに奥多摩三山と称せられる人気登山と称せられる人気の山(日本二百名山)へ登って、「御岳山鉄道」のアタックを8月5日(月)に実施することとした。

9時15分までにJR奥多摩線の御岳駅集合集合。駅前から御岳山の

この日は曇ってかすんで

おり残念ながら眺望は得られなかった。
 9時50分出発。御岳ピクチャーセンターを右に見てかなり急坂を登って行く。左手に御師集落や日の出山への道を分ける。とすぐに神代ケヤキにつく。樹齢千年といわれ、国の天然記念物に指定されているそうだ。ここから土産物屋や食堂の並ぶ商店街を抜けると間もなく御岳山神社の随神門がある。ここまでの道中にレンゲシヨウマの立て看板を多く見かけたが、この先の石段の左右に花を見る事ができた。石段を登りつめたところが御岳山頂上(九百二十九m)で御岳山神社本殿がある。(古来修験道の拠点で大口真神ニオカミを守り神としている)時間の都合もあって本殿に寄らず、石段の下からお参りして案内板のある坂を右へ下る。5〜6分ほどで長尾茶屋に着く。長尾平への分岐で売店がある。ここを右へ下って行くくと天狗岩・七代の滝からロックガーデンへの道を左に分ける。しばらくすると(天狗の腰掛け杉 樹齢推定350年)にたどり着いたが、ここか



ら右へ急坂をたどると奥ノ院へ行ける。我々は急坂を避けて左へ平坦な道を辿る。軽いアップダウンを繰り返して、木橋で酒沢を渡ると水場があり、小休止して冷たい山水で喉を潤す。沢沿いの道を進むと左手に古い東屋が見えてきた。道は赤土の滑りやすい急坂となり登りつめたところが芥場峠のはずであったがなんとなく見逃して通り過ぎてしまった。道はまたゆるやかなのぼりとなり、やがて奥ノ院からの道を合わせ次第に足元の悪い岩混じりの道となった。「滑落注意」の標識があり、鉄梯子や鎖場なども通過するので三点確保で緊張しながら上る。松岡夫人が意外に元気で驚く。

岩場を過ぎると間もなく杉の林が見えてきて、旧大岳山荘の建物の上に出た。休業中なので建物はかなり老朽化している。時刻は11時40分、杉の木陰で涼しく、ちょっとした広場になっていたので小休止して、山荘のトイレで用を足す人もあった。山頂目指す。鳥居をくぐって石段を登ると右手に大岳神社があり、こも山犬様を守護神にしている。岩場混じりの道を30分ほど登り、やっと山頂(千二百六十六・五m)に着いた。南西方面の展望は開けていて、御前山がどっしりとした姿を見せていた。残念ながら富士山はかすんでいてよく見えなかった。記念写真を撮り、昼食休憩1時間。乾きもののおつまみを肴にちょっと喉を潤し、簡単な弁当ながら山での食事は豪華な晩餐にも劣らない。
 13時5分に下山開始。しばらくは落石の危険がある荒れた道を行く。御前山への分岐を左折すると緩やかな下りとなる。展望が良いというベンチの置かれた富士見スポットを過ぎると、やがて白倉分岐に至る。このまま

直進すると馬頭刈尾根だが右へ道を取り、急な坂道を下る。やがて、石垣が現れるが十九丁と名付けられている。さらに樹林帯の中をひたすらジグザグに下る。かなりたぎれてきたあたりで道は緩やかになり、間もなく車道へ出たところが大獄

●●●●●●●●
東京四極囲碁会
 ●●●●●●●●

松岡幸秀(第52回)

東京四極会の囲碁会は、3か月ごとに開催しています。2月、5月、8月は、中里氏が8月、12月と連続優勝されています。各対戦で勝つごとにポイントがプラスされ、さらに優勝ポイントがプラスされての連続優勝の「歩こう会」を実施したいと思います。その他の参加者は、以下の皆さんです。
 (反省会?)です。12月は忘年会を兼ねて、湯河原のたつみ荘で1泊2日の合宿を行っています。
 5月の優勝者は、葛城征志氏(第41回)、準優勝は、中里利男氏(第37回)、準優勝は小野二六氏(第38回)、12月の優勝者は、中里利男氏(第48回)、阿萬和水(第48回)、松岡幸秀(第52回)です。囲碁の楽しみに加え、対戦後の懇親会もあり、参加者の皆さんのおかげ

でいつも楽しい会となっています。参加ご希望の方は、東京四極会を通じ(囲碁会幹事 松岡幸秀)お問い合わせください。
 平成26年
「たまには歩こう会」新年会
 1月11日(土)に、赤坂見附の「月の市場」で、20名が出席してにぎやかに開催された。坂井大和会長が年頭の挨拶に続いて乾杯の音頭を取り、開演となった。計画について大まかな提案があり、平地歩きから本格的な登山などバラエティーを考えた6〜7回の「歩こう会」を実施することが了承され、具体的に今後会員の意見を集約して計画することになった。また、第64回となる年明け最初の企画としては3月1日(土)に横浜の名園「三溪園」を訪ね、横浜中華街で昼食を兼ねて反省会を行うという案が示された。



今年も長老の池辺さんから、麦焼酎発祥の地である吉岐の長期熟成銘酒「吉岐っ娘・38度」を頂き、楽しいパーティーとなった。用正さんからは趣味の陶芸作品(ぐい呑の詩)を吟じ、続いて野田さんが黒田忠三郎(水戸藩士・桜田門外で大老井伊直弼を暗殺後処刑された)作「絶命詩」を披露した。
 あっという間に時間が経過して、集合写真を撮った後、姫野東京四極会理事長から「今後の会の発展に期待する」とのコメントを頂き、池辺先輩の中締めと続いて、名残を惜しみながら散会した。
 参加者(池辺和郎・淵光太郎・坂井大和・恭子・用正靖彦・江藤浩一・永野基昭・葛城征志・野田和文・松浦靖弘・松永幸一・姫野易之・生田陽代・竹上英文・溝部憲治・田中典明・山下政晴・野村聡・松岡幸秀・梅谷寛雄)以上20名(敬称略)
謹んでお悔やみ申し上げます
 (敬称略)
 猪野 庸一(43回)
 平成25年5月
 後藤 吉重(31回)
 平成25年8月27日
 河田 恕千(31回)
 平成25年10月7日
 加藤 国晴(35回)
 平成26年1月15日